

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●F. ミナリク騎手がJRA初勝利をあげる

2月11日(祝・日)の1回東京5日・第1レースではウインメディウムが1着となり、同馬に騎乗したフィリップ・ミナリク騎手(ドイツ)は、JRA初勝利(13戦目)をあげました。ミナリク騎手は過去にジャパンカップなどに騎乗していますが、短期免許を取得しての来日・騎乗は今回が初のこととなります。

●2018年度の新規騎手免許試験合格者発表

2018年(平成30年)度の新規騎手免許試験合格者が発表されました。JRA競馬学校騎手課程を卒業する西村淳也(栗東・田所秀孝厩舎)、服部寿希(栗東・湯窪幸雄厩舎)、山田敬士(美浦・小松山悟厩舎)の3名で、3月にJRAの騎手としてデビューする予定です。

●豪G1に日本馬のべ37頭が予備登録

4月7日(土)と14日(土)にオーストラリアのランドウィック競馬場で行われる「ザ・チャンピオンシップス」諸競走に日本馬のべ37頭の予備登録がありました。ドンカスターマイル(G1/芝1600m)にはアドマイヤリード(牝4歳/栗東・須貝尚介厩舎)、ディアドラ(牝4歳/栗東・橋田満厩舎)、モズカッチャン(牝4歳/栗東・鮫島一步厩舎)ら12頭、クイーンエリザベスS(G1/芝2000m)にはサトノクラウン(牡6歳/美浦・堀宣行厩舎)、ディアドラ、モズカッチャンら14頭、シドニーC(G1/芝3200m)にはクリンチャー(牡4歳/栗東・宮本博厩舎)ら6頭、レガシークイーンオブザターフ(G1/芝1600m)にはアドマイヤリード、ディアドラ、モズカッチャンら5頭となっています。

●アメリカ三冠競走に日本馬3頭が登録

アメリカ三冠競走に、日本からコパノキッキング(騾3歳/栗東・村山明厩舎)、ルージュエロ(牡3歳/美浦・鹿戸雄一厩舎)、ワークアンドラブ(牡3歳/栗東・田所秀孝厩舎)の3頭が登録を行いました。本年のアメリカ三冠競走は、5月5日(土)にケンタッキーダービー(G1/チャーチルダウンス競馬場/ダート2000m)、5月19日(土)にブリークネスS(G1/ビムリコ競馬場/ダート1900m)、6月9日(土)にベルモントS(G1/ベルモントパーク競馬場/ダート2400m)の日程で実施される予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●船橋のブレイズアトレイルがオーシャンSに登録

夕刊フジ賞オーシャンS(GⅢ、3月3日、中山、高松宮記念の出走資格獲得は2着以内)に、ブレイズアトレイル(船橋)が登録しました。昨年のオーシャンSでは15着に終わっており、上位進出は難しそうです。

●サムライドライブ(愛知)が無傷の7連勝【各地の主要3歳重賞】

梅桜賞(1月30日、名古屋、1800m、牝馬)は、逃げた単勝1.1倍で圧倒的人気のサムライドライブ(父シニスターミニスター)が9馬身差で圧勝、デビュー以来の連勝を7に伸ばしました。園田クイーンセレクション(1月18日、園田、1400m、牝馬)は、後ろから2頭目という位置から追い上げた9番人気の伏兵スウォナーレ(父フリオーソ)が、ゴール前で差し切り勝ち。逃げた単勝1.5倍で断然人気のショコラパフェは、11着に沈んでいます。ゴールドジュニア(1月25日、笠松、1600m)は、3番手から3、4コーナー中間で先頭に立った2番人気の金沢からの遠征馬ノブイチ(牡、父パイロ)がそのまま逃げ込み、金沢ヤングチャンピオンに続く重賞2連勝。単勝1.6倍で1番人気の兵庫2歳王者コーナスフロリダは2着でした。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ジョルジ・リカルド騎手が世界最多勝記録を更新

ブラジル出身のジョルジ・リカルド騎手(56歳)が2月7日、アルゼンチンのサンイシドロ競馬場の第4レースをホープグローリーで逃げ切って優勝。1万2845勝目をあげて、カナダ出身でアメリカを拠点に活躍したラッセル・ベイズ元騎手(2016年に引退)が持っていた世界最多勝記録を塗り替えました。リカルド騎手は15歳だった1976年にブラジルで初勝利。リオデジャネイロのチャンピオンジョッキーに26シーズン続けて輝いた後、アルゼンチンに拠点を移してそれでもチャンピオンタイトルを4度獲得しています。2008年1月には史上初めて1万勝の大台に到達しましたが、その後は病気や落馬による怪我の影響もあって、ベイズ元騎手に逆転を許していました。

●ワールドアブルーバルが今季初戦を制す

昨年のG1ブリーダーズCマイル(芝800m)の勝ち馬で、米最優秀牡馬にも選ばれたワールドアブルーバル(騾6歳、父ノーザンアフリート、M. キャシー厩舎)が2月10日、今季初戦となったG3タンパベイS(米タンパベイダウンス競馬場、芝8.5f)を半馬身差で優勝しました。